

## 少雨に対する農作物栽培の技術対策について

(農業戦略課)

静岡県では、昨年10月下旬から降水量の少ない状態が続いています。静岡地方気象台によると、この状態は今後1か月程度は続く見込みです。

一部の農作物では、生育への影響が懸念されます。今後の栽培管理に注意してください。

### 1 地点別の月別降水量と平年比

地 点	11 月		12 月		1 月 (1 日～15 日)	
	降水量 (mm)	平年比 (%)	降水量 (mm)	平年比 (%)	降水量 (mm)	平年比 (%)
三 島	32.0	30	21.0	38	3.0	9
静 岡	25.5	19	12.0	19	4.0	12
浜 松	47.0	40	11.0	21	3.5	14

※静岡地方気象台発表の速報値

### 2 栽培管理上の留意点

作目	内 容
レタス その他露地野菜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチや敷きわらを厚くして地表面からの水分蒸散を抑える。</li> <li>・葉のしおれがみられる場合、適宜かん水を行う。</li> </ul>
温州みかん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷きわら、敷き草等により、土壌水分の蒸散を防ぐ。</li> <li>・用水管理者と調整の上、20t/10a (赤黄色土) を目安にかん水を行う。可能であれば防寒対策とあわせて対処する。</li> <li>・かん水は、低温の日は避け暖かい日の午前中に行う。</li> </ul>
茶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷きわら、敷き草により、土壌水分の蒸散を防ぐ。</li> <li>・幼木園では特に留意し、水利の良いところではかん水を行う。</li> <li>・スプリンクラーかん水の場合、用水管理者と調整の上、晴天が5日続いた時に5t/10a (赤黄色土) を目安にかん水を行う。</li> <li>・かん水は、低温の日は避け暖かい日の午前中に行う。</li> <li>・冬期の低温と干ばつにより青枯れが発生する場合がありますので、防寒対策とあわせて対処する。</li> </ul>